

◆ 令和3年10月観光文教委員会

修学旅行実施状況とキャンセル料について

令和3年度の市立全小中学校の修学旅行の実施状況について質問。

その回答として、令和3年10月末時点で市立全小中学校64校のうち既に実施23校、今後実施予定37校、日帰りに変更2校、中止2校とのことであった。

修学旅行は学生生活においてかけがえのない一生の思い出であり、コロナ禍ではあるが学校や多くの保護者達も何とか実施できないものかと考えるなか、現時点で中止と決めた2校があると聞き、なぜ延期ではなく中止としたのか、各学校に対してどのように指導をしているのかについて質問したところ、旅行の実施については学校長が判断しており、中止ではなく延期扱いや近距離での実施、旅行日程を短縮するなど適切に実施方法を変更・工夫し、文部科学省の指針に沿って旅行の計画をするよう担当課より各学校長に指示伝達しているとの回答であった。

ではなぜこの2校は中止と決定してしまったのか。

修学旅行に行くことを楽しみにしていた子どもたちの気持ち、一生の思い出を作ってほしいと思う保護者の気持ちを考えるといたたまれない。

今からでも遅くはないので近距離でもいいから実施に向けて再考し、今後このようなことが起こらないように改めて指導の徹底を要望した。

またこの2校は旅行の中止に伴いキャンセル料が発生しており、昨年まで公費負担されていたキャンセル料について、今年は国からの臨時交付金が受けられないとの理由でキャンセル料が保護者負担になっている。

奈良県の本市以外のほとんどの市がキャンセル料を一般財源より補助することから、本市においても公費負担すべきであると意見を述べた。

12月上旬にはすべての学校の修学旅行が実施される予定であり、その時期に国の補助金等が活用できるかも含めて検討したいとの答弁であった。

◆ 令和3年12月定例会

衆議院議員総選挙等の開票時間の遅延と選挙に係わった市職員の労務管理について

10月31日にルートアリーナ奈良で行われた衆議院議員選挙比例開票の立会人として開票作業を最後まで見守ったが、午後9時過ぎから始まった開票作業がすべて終了したのが午前4時46分であった。

全国中核都市62市の内、本市の午前4時46分は2番目に遅い結果であり、他市の80%以上が午前2時前後に開票を終了。また過去の選挙開票終了時間を調べても常に遅い結果であり、本市の開票作業には根本的に改善しなければいけない問題があるのではないかと今回の遅延及びこれまでの結果についてそれらの原因を質問ところ、今回の遅延については県議会議員補欠選挙が同日に執行されたこと、開票区が1区と2区に分かれており開票事務や開票場所を別々に行わなければならないこと、比例代表選挙の集計作業において票の数え直しや投票録の再点検を行ったこと、奈良県選挙管理委員会の確認に時間を要したこと、コロナ禍の影響で従事職員の確保が十分にできなかったこと等が原因であった。

これらの原因は事前に予期できたことであり対策は可能だったのではないかと。

このことを踏まえ、これから時間短縮に向けての改善策はあるのかとの問いに対し、コロナ禍であっても従事職員への意識付けやスキルアップを図ること、投票録等の受付後速やかに再点検を行うこと、今まで職員による目視の点検を2回行っていたが他市の状況を調査したうえで1回にできないかを検討すること、開票区の統合を全国選挙管理委員会を通して国へ引き続き要望していくこと等の答弁であった。

また、今回の選挙には824人の職員が従事しており、その内189人が開票作業に従事していた。

職員の労務管理において深夜から早朝まで残業させ、ほぼ睡眠もとらせず翌日通常業務をさせていることについての改善策について市長に質問。

選挙開票の市職員の従事に関しては選挙管理委員会にゆだねているが、少しでも早く終了するよう工程の見直し等、改善に向けて選挙管理委員会に検討を求める。

また新型コロナウイルス感染防止やワクチン接種業務等の繁忙となっている職場の職員を開票事務から除外し負担軽減を図る等、一定の配慮は行っている。投票開票事務も重要ではあるが、平常時の業務も同様に欠かすことのできない市民サービスを継続的に対応していかなければならないものであり選挙日翌日の勤務については職員への負担をかけてしまうことになるが、振替休暇を順次取得する等、職員の健康を保持できるよう努めるとの答弁であった。開票結果、特に国政選挙の遅延は本市だけの問題ではなく全国の皆様にご迷惑をかけてしまう事になり、また残業時間の増は経費増、従事職員の負担増にもなるため、翌日の勤務に関しては職員の負担軽減の為に午前半休や振替休暇の取得徹底を意見し、時間短縮に向けて改善策の徹底を要望した。